

第2回

- ・実施日：令和元年12月24日（水） 13:00～15:00
- ・場所：東松山市総合会館 4階 多目的ホールA
- ・出席者：別紙のとおり

◆開催状況



◆協議会の内容

- 荒川水系における令和元年台風第19号の概要
- 入間川流域緊急治水対策プロジェクト 中間とりまとめ(案)について
 - ・中間とりまとめ(案) 説明
 - ・中間とりまとめ(案)参考資料 説明
- 中間とりまとめ(案)に対する質問・意見
- 今後のスケジュールについて
- その他

◆中間とりまとめ(案)に対する質問・意見

- ・越水や決壊を感知するセンサーはいつごろ設置できるか。坂戸市でも検討したいと考えている(坂戸市の意見)。
- ・堤防の決壊をはじめ水害を起こさないハード対策を望んでいる。対策を実施するに当たり、関係団体や地権者の方々への説明があると思うが、出来る限り早い段階でハード・ソフト両面における対策を迅速に進めていただけるように市は協力体制をとっていきたい。今回提示いただいた三位一体の対策のしっかりとした事業化をお願いしたい(東松山市の意見)。
- ・越辺川の応急復旧については対応いただき感謝している。今後についても県、国と協議し合いながら市も全力を尽くしていきたい(川越市の意見)。
- ・数年前から遊水地が必要であると思っていた。市では整備ができないので、国と県に整備して欲しい(坂戸市の意見)。
- ・今回の洪水で、河川整備は大事であると改めて感じた。なるべく早く樹木の伐採、土砂の掘削をお願いしたい。河川敷内で国有地に生える樹木の伐採は当然だが、合わせて民有地の伐採もお願いしたい。民有地の伐採については、身をていして町の方で個々の所有者に伐採の了解を得ていきたい。また、スーパー堤防とまでは言わないが、堤防に沿って高台を整備していきたい。また、河道内の土砂を掘削し、それを調節地の周囲堤として盛っていききたいと考えている。(川島町の意見)。
- ・今後は復旧、復興に向けての委員会を立ち上げて、取り組んでいく。今回の台風の対応については、検証を行っていき地域防災計画などに生かしていきたい(埼玉県危機管理防災部の意見)。

-
- ・ 入間川流域の県の管理する河川について、決壊箇所、河川施設の被災箇所を早急に災害の本復旧工事の方を進めていきたい。溢水・越水の箇所を中心に土砂の撤去、樹木の伐採、を徹底するとともに堤防の質的整備を進めていきたい。さまざまな治水対策手法を組み合わせることで河川の治水安全度を上げていきたい(埼玉県県土整備部の意見)。
 - ・ 台風第19号の際に出した防災気象情報を振り返りという形で検討している。自治体の担当者を含めて振り返りをしていきながらよりいっそう適時適切な防災気象情報を出すよう努めていく(熊谷地方気象台)。
 - ・ 国は決壊を感知するセンサーの間隔をどのくらいで考えているか。どのくらいの間隔で設置すれば効果がわかるか(坂戸市の意見)。

◆協議会結果

- ・ 中間とりまとめ(案)について、特に修正意見がなかったため、本日をもって承認された。
- ・ 承認された中間とりまとめの公表について、12/26(木)17時頃に記者発表することが了承された。

◆その他(事務局より)

- ・ プロジェクトの策定に向けて第3回の部会を1/24 14:30から川越市内にて開催する予定である。

荒川水系(埼玉県域)大規模氾濫に関する減災対策協議会
第2回 入間川流域部会 出席者名簿

日時・場所:令和元年12月24日(火)13:00～ 東松山市総合会館 4階 多目的ホールA

機関名	組織名	役職	氏名	備考
川越市	—	市長	川合 善明	代理:防災危機管理室 室長 杉本 弘
東松山市	—	市長	森田 光一	
坂戸市	—	市長	石川 清	
川島町	—	町長	飯島 和夫	
埼玉県	危機管理防災部	部長	森尾 博之	代理:消防防災課 主幹 萩野 修
埼玉県	県土整備部	部長	中村 一之	代理:河川砂防課 課長 林 雄一郎
気象庁 熊谷地方气象台	—	台長	桜井 美菜子	代理: 防災管理官 林 広樹
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所	—	事務所長	藤本 雄介	
国土交通省 関東地方整備局 河川部	—	部長	佐藤 寿延	
国土交通省 関東地方整備局 河川部	水災害対策センター	センター長	由井 修二	

